

2022 年 3 月 2 日

ゾヤ・スコロパデンコ 様

自由と日常が 1 日でも早く訪れることを願って

福島県立相馬高等学校同窓会
馬城会会長 村山 正之

ゾヤ様の母国ウクライナが、突然のロシアの侵攻により、人々の平穏な日常が勝手に破壊され、何の罪もない、この宇宙に一つしかない命が傷つけられ、そして奪われています。

さて、東日本大震災と原発事故後、深い共感と再生の期待を込めて、2015 年 11 月、私たちの母校相馬高校の庭に、平和の歌を口ずさみ続ける小鳥のモニュメント「THE HOPE」を、ゾヤ様から贈っていただきました。

添えられた言葉を改めて噛みしめています。

Singing morning songs

Sitting on a rock

A small bird

Hope for the future

この地球に強い指導者はいりません。強くなった人間とその取り巻きは、いつも力で支配しようとしめます。

戦いの犠牲は、いつも名もない弱い人々です。戦争の後に残るのは、慟哭のみです。本当に心が痛みますが、何もすることができず悔いが残ります。

この戦いが 1 日でも早く収束し、ウクライナに自由と日常が戻ってくることを願っております。

(註) 相馬高校音楽室前の庭園に、自然石と県の鳥「キビタキ」をモチーフにしたブロンズ作品「THE HOPE」が設置され、2015 年 11 月 20 日、ゾヤ氏をはじめ後援したウクライナ共和国公使が相馬高校を訪れました。

〈参考：創立 120 周年記念誌〉

このメッセージは、在日ウクライナ大使館気付でゾヤ氏に送りました。